長房住民が伝えたい地域の歴史

P28・29にマップがあります！

ここがポイント！

長房中学校区には、たくさんの歴史があります。これまで受け継がれてきた歴史を後世に伝えていくことは、地域づくりを進める上でとても大切なことです。

1 かつて長房にあった鉄道 「御陵線」

昭和6年（1931年）から昭和20年（1945年）まで、北野から多摩陵前までを走っていた京王電気軌道（現在の京王電鉄）は、多くの人々に親しまれてきました。大正天皇崩御により関東地方に初めて造営された多摩陵が話題となり、多くの参拝者を運びました。現在も当時の御陵線のコンクリート製の橋脚が残っています。

南浅川にあった御陵線の橋脚

京王御陵駅前

2 陸軍幼年学校跡に建てられた長房団地

幼年学校　生徒集会所

造成当時の長房団地

幼年学校航空写真　昭和19年（1944年）

昭和19年（1944年）3月に東京陸軍幼年学校が戸山台（現在の新宿区）から下長房の丘陵に移転してきました。当時、約900名の生徒がいました。約10万坪に校舎やグラウンドがありましたが、昭和20年（1945年）8月2日の八王子空襲で標的となり、ほぼ全焼してしまいました。その跡地に建てられたのが、長房団地です。

3 船田の田んぼ

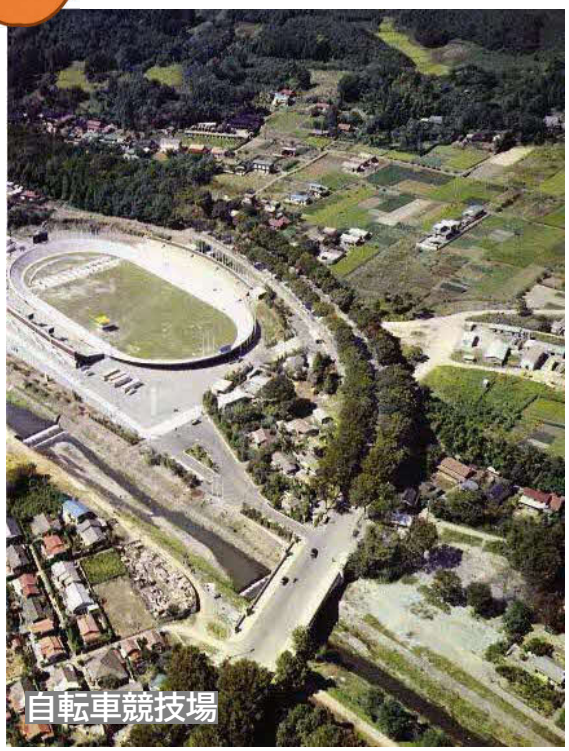
【豆知識】昔の船田はより広域で、現在では長房と呼ばれる一部地域も船田でした

田んぼが広がる様子

田んぼを歩く子ども

長房団地が造成される前の長房には、竹藪、河原等、豊かな自然の中で田んぼが営まれ、小魚やホタルなどの生き物が多く住んでいました。とりわけ船田地域からは今から約4500年前の住居跡が確認され、石器や土器が出土しました。奈良・平安時代の集落跡からは鉄製農具なども出土しています。

4 昭和39年（1964年）オリンピックの競技会場


自転車競技場

昭和39年（1964年）東京オリンピックの自転車競技は、八王子市で開催されました。現在の陵南公園の場所でトラック競技が開催され、競技場の西側には選手村が建設されました。ロードレースの発着点は甲州街道の多摩御陵入口付近で、甲州街道沿いには観覧席が設置されました。

南浅川側から見た自転車競技場

その他の長房の歴史に関する情報について

以下の博物館や図書館、冊子などから歴史についての情報が手に入ります。

桑都日本遺産
センター 八王子博物館

八王子市中央図書館

八王子歴史文化基本構想　冊子